

第4回 知立市野外彫刻プロムナード展 推進計画策定委員会

議事録

と き：平成25年1月26日（土）

午前10時～午後0時

ところ：知立市 中央公民館 中会議室

出席及び欠席委員

		氏名	備考	出欠
1	学識経験を有する者	宇納 一公	愛知教育大学 特別教授	○
2		野村 和弘	彫刻家	×
3		藤田 雅也	名古屋経済大学短期大学部 准教授	○
4	各種団体を代表する者	小林 佑自	野外彫刻プロムナード展振興運営委員会 委員長 知立ライオンズクラブ会員	○
5		近藤 鈴俊	ちりゅう芸術創造協会 理事長	○
6		風間 勝治	知立市商工会 副会長 知立市商店街連合会 会長	×
7		高須 昭宜	知立市文化協会 会長	○
オブザーバー		佐野奈津美	愛知教育大学 美術教育講座 彫刻研究室 4年	×
		壺井杏里		○

1. あいさつ

- 神谷都市整備部長より、あいさつを行った。

2. 協議事項

- 事務局より配布資料の説明を行った。

宇納委員長

植栽の修景は、都市計画課が実施すべきことなのか。植栽の管理者に指摘すれば、やってもらえないのか。

事務局
(鈴木課長)

新たに植栽を植えなおすとなると、今年度は他の課では予算取りをしていないので、都市計画課が実施することになる。

今後は、植栽の管理者である土木課等と調整して維持管理の役割分担を明確にする必要がある。

近藤委員

どの課が予算取りをしても ALL 知立で考えれば問題はない。しかし今年度の予算は、本来彫刻の設置等のために計上しているので、周囲

の植栽の修景については、他の予算、例えば公園緑地が担当している緑化推進事業等で実施することが望ましいのではないかと。緑化と彫刻の設置を併せて実施することは、都市計画の政策展開上からも、望ましい形だと思う。

また彫刻清掃については私も参加して、パティオ池鯉鮒の館長&スタッフブログに書き込みをしたところ、「どこに彫刻が設置してあるのか」「私も清掃活動に参加したい」といった反響がいくつかあったので、非常によい取組みだったと思う。

宇納委員長 事務局の意向としては、今後、春と秋に彫刻清掃活動を実施できるような体制づくりをしたいとのことだったが、皆さんからの反対意見がなければ、今回の計画の中に組み込んでどうか。

また野外彫刻プロムナード展振興運営委員会の事業計画の中にもその旨を明記するとよい。

小林委員 資料1に、大理石は風化しやすいので、今後設置する作品は、御影石などを使用したほうがよいとある。計画書にはその意見が盛り込まれていないが。

宇納委員長 確かに大理石は風化しやすいが、どんな材質であれ、メンテナンスをきちんとしないと作品は風化する。

20年30年、あるいは100年先を視野に入れた考え方をするのであれば、それにふさわしい彫刻を設置することも考えられるが、これまで知立市では、できるだけお金をかけないやり方で、手づくり感があり、親しみの持てる作品を設置することに重きを置いてきた。その積み重ねで結果的に作品が増えているが、それが知立市の身の丈にあったものになっていると思う。

近藤委員 先ほど事務局から彫刻の清掃を定期的実施したいという話があったが、多くの市民を動員する既存イベントとして、7万人クリーンサンデーや歩け歩け運動、また都市計画課が実施しているものとしては散歩みちのわくわくウォーキングがあるが、こういった既存イベントとかませていくと、広く市民に周知できると思う。

宇納委員長 「かばのもあもあ」、「ハッケヨイ」が設置されているところは、シダレザクラがとても綺麗なので、その時期に合わせてイベントを実施できるとよい。

資料2で、題名が「彫刻のある風景づくり推進計画」となっているが、これについて意見をお願いしたい。

小林委員 「風景」ではなく「景観」はどうか。

宇納委員長 「景観」だと、人工的につくっていくイメージがあるが、「風景」だと周囲の自然も含めたイメージがある。

近藤委員 私も最初は「都市景観」がいいかと思ったが、色々話を聞いているうちに「風景」もいいなと思った。

高須委員 彫刻のある風景づくりの基本理念で、「新旧の文化が交差する文化の

宇納委員長
高須委員

まち・知立」の風景づくりとあるが、意識が感じられないので、「～文化のまち・知立」をアピールできる風景づくりに変えたほうがよい。文化が2つ出てくるので削ってコンパクトにしたほうがよい。

意識が感じられるように、事務局の方で再考してほしい。

基本方針で、誰がどのように進めていくかの記述がない。各地区での取り組みの内容については、実際には、実行委員会で具体的に検討していくことになろうかと思うが、実行委員会と振興運営委員会との役割分担をしないと、わかりにくい。振興運営委員会で審議した内容が、市の事業に反映されていく道筋も必要と思う。

基本方針を固定してしまうと、新たな発想が出てこなくなるのではないか。

事務局
(寒河井)

役割分担について明記できるよう、再度検討したい。基本方針といっても、今回の案では大まかな道筋が記載されている程度だが、実行委員会で柔軟に対応できるよう配慮したい。

藤田委員

実行委員会のつくり方についても、道筋をつけるべきと思う。

野外彫刻プロムナード展の今後については、すぐ実行委員会を立ち上げて検討していく必要がある。

実行委員会を細かく分けすぎると、収集がつかなくなるのではないか。

事務局
(寒河井)

野外彫刻プロムナード展の実行委員会についてあまり具体的に記述していなかったので、再度検討したい。

実行委員会を細かく分けた市側の意図としては、野外彫刻プロムナード展と、知立駅周辺のアートを活用した整備は、別に動いていったほうがよいという思いがあり、分けてある。

近藤委員

振興運営委員会は総括をするところだと思う。下部組織の実行委員会は重点推進地区ごとに設置し、その地区に関係する方にメンバーとして入ってもらうようにすれば、地区の特性に応じた内容を検討していくことができると思う。

宇納委員長

駅前の再開発は、行政が取り組んでいることなので、振興運営委員会としては、これまで接触がなかったが。

近藤委員

今回の計画を策定している主体は振興運営委員会ではなく、市であり、今後、議会そして市民に承認される内容になってくる。

市が策定する計画書の中に、振興運営委員会の役割を明記しておけば、駅周辺の再開発において、アートを活用できるか否かを行政から振興運営委員会に意見を求める段取りになってくると思うので、それに対応するため実行委員会を立上げ、検討していけばよい。

宇納委員長

今回の計画が、市長にもよく把握してもらえよう、お願いしたい。基本方針に、知立市のまちづくりのあり方を記述したほうがよい。また、(1) 作品の設置場所は、(2) 作品の設置のあり方の中にまとめたいほうがよい。

近藤委員	<p>1. 彫刻のある風景づくり推進計画策定の目的で、策定主体が知立市であることを明確にする文章構成に直すべきだと思う。</p> <p>また2. も、基本理念としては内容が具体的すぎると思う。何のために知立市では彫刻を活かしたまちづくりを推進するのかが、市民に伝わる書き方をした方がよい。</p>
高須委員	<p>日本国憲法の理念は、「自由」と「平等」にある。同じように、この基本理念も、もっとシンプルに全てを含めるようにまとめるべきと思う。</p>
事務局 (寒河井)	<p>皆さんからの意見をもとに、再検討させていただきたい。</p>
宇納委員長	<p>愛知教育大学では、来年度、彫刻分野で、市との連携事業ができる講師または助教の募集ができる見通しとなった。来年1年で新たに赴任される先生に、これまで実施してきた内容について情報を流していきるとよいと思っている。</p> <p>彫刻作品設置工事費として、今年度は60万円の予算をつけていただいたが、来年度も継続していける見通しはあるのか。</p>
事務局 (伊藤課長補佐) 宇納委員長	<p>来年度も継続していける見通しで手続きを進めているが、正式には3月の議会で決定する。</p> <p>継続ということであれば、この場で今年度整備の方針について皆さんの意見を伺って、あとは市の判断にまかせたい。</p> <p>今のところ、彫刻作品を設置するための案として、藤田委員と私の方で、2つの作品を候補にあげさせてもらっているが、他にも「平等であること～かけっこ～(第6回プロムナード展 出展作品)」も、耐久性のある材質に変えて制作すれば、よいものになると思う。</p> <p>藤田委員に提案してもらった作品は、きちんとしたステージのある所で、目立つように、作品の中身が伝わるような設置の仕方を考える必要がある。</p> <p>今後も予算が続いていければ実行委員会を立ち上げ、予算の使い方について検討していくことも考えたい。</p>
小林委員	<p>文化会館のエントランスロードに、もう少しシンボリックな作品を置いてもらえるようにしたい。</p> <p>また文化会館周囲の遊歩道も、もう少し環境整備してほしい。</p>
近藤委員	<p>台座でもよいので、彫刻作品の設置に関わる内容について重点的に使っていくべきと思う。Bを第一候補とし、残った予算で、AやCを実施していけばよい。</p> <p>また現在、文化会館でも改修計画を策定しているが、この計画では、建物本体を長寿命化させるための内容しか盛り込めない状況になっている。本来は建物周囲の環境も含めて文化会館であるので、敷地周囲での環境整備や、彫刻設置スペースの整備等もすべきだと思う。</p> <p>そこで、今回の「彫刻のある風景づくり推進計画」の中で文化会館を</p>

重点推進地区に位置づけることで、それを根拠として環境整備に取り組んでいけないか、提案したい。

宇納委員長
藤田委員
事務局
(神谷部長)

60万円の使い方について色々のご意見をいただいたが、今後継続して彫刻展示できるような取組みをしたいという中での初年度であるので、できれば、植栽の修景ではなく、新たな彫刻を設置し、インパクトのある使い方をしていきたい。個人的には考えている。

宇納委員長
事務局
(伊藤課長補佐)

B案は、植栽の一部を取って設置するとあるが、植栽を取ってしまうと、作品の背景がなくなってしまうのではないかと考えている。

管理者である土木課から安全対策上植栽部分に設置してほしい旨の意向を聞いているが、再度調整する。なお植栽は全て取るのではなく、設置する部分のみ取る予定なので、背景としての植栽は多少残るのではないかと考えている。

宇納委員長
事務局
(神谷部長)

推進計画については、事務局の方で再検討し、全委員に文書で最終案を確認してもらった後、市長へ提出するという段取りでお願いしたい。

いただいたご意見を精査して、再度皆さんに個別に確認いただきたいと思う。できあがった推進計画をどう実行していくかも重要なので、ご協力をお願いしたい。

以上